

櫻井工業株式会社 サステナブル経営支援 bonds 評価レポート

評価日: 2025 年 11 月 28 日

株式会社北洋銀行
南郷通支店

1. 基本情報

企 業 名	櫻井工業株式会社	
代 表 者 名	櫻井 光雄	
所 在 地	<ul style="list-style-type: none">本社 北海道札幌市白石区平和通 11 丁目北 6 番 39 号札幌事業所 北海道札幌市白石区平和通 16 丁目北 1 番 17 号盛岡営業所 岩手県盛岡市夕顔瀬町 22 番 29 号仙台支店 宮城県仙台市若林区六丁目の目中町 25 番 43 号東京支店 東京都大田区萩中 3 丁目 12 番 18 号埼玉営業所 埼玉県三郷市早稲田 2 丁目 13 番 15 号名古屋支店 愛知県名古屋市中村区角割 5 丁目 18 番地	
資 本 金	3,500 万円	
従 業 員	30 名 (2025 年 11 月現在)	
業 種	建設業	
事 業 内 容	<ul style="list-style-type: none">建築物全般、各設備の老朽化調査及び診断業務給水設備、各設備の大規模改修工事給水・給湯配管設備工事、排水・衛生設備工事各排水管・貯水槽の洗浄および清掃給排水ポンプ工事脱気式防錆装置(赤水対策等他)設備メンテナンス	
沿 革	昭和 42 年 2 月	櫻井工業設立 創業者 櫻井守
	昭和 42 年 2 月	建設業 北海道知事許可を取得
	昭和 46 年 3 月	桜井工業有限会社となる
	昭和 51 年 4 月	札幌市指定第一種水道工事業者となる
	昭和 52 年 6 月	水質処理環境技術機器の研究開発を開始
	昭和 52 年 6 月	資本金 1,000 万円とし EWT 櫻井株式会社となる
	昭和 52 年 6 月	マンションリニューアル及びメンテナンス事業に参入
	平成 9 年 1 月	札幌市アパート協同組合工事指定店となる
	平成 19 年 1 月	代表取締役社長に櫻井光雄が就任
	平成 19 年 1 月	櫻井工業株式会社に称号変更
	平成 20 年 3 月	東日本大震災緊急ライフラインの復旧参加
	平成 23 年 4 月	櫻井工業株式会社仙台支店開設
	平成 23 年 6 月	仙台指定給水装置工事業者となる
	平成 25 年 7 月	櫻井工業株式会社名古屋支店開設
	平成 25 年 9 月	名古屋市指定給水装置工事業者となる
	平成 25 年 12 月	特定建設業許可を取得

平成 28 年 4 月	櫻井工業株式会社東京営業所開設
平成 28 年 4 月	オゾン洗浄(北海道エリア)営業開始
平成 29 年 2 月	櫻井工業創立 50 周年
平成 29 年 10 月	労働災害防止安全協力会及び櫻会設立
令和 3 年 5 月	東京営業所移転
令和 3 年 7 月	札幌事業所開設
令和 4 年 1 月	埼玉営業所開設
令和 4 年 8 月	盛岡営業所開設

2. 経営理念・基本方針

経営理念
人を活かし、社会へ貢献

基本方針
活力・貢献・創造

櫻井工業株式会社は、「人を活かし、社会へ貢献」という経営理念と、「活力」「貢献」「創造」という三つの基本方針を掲げている。基本方針の「活力」には、社員一人ひとりの個性と技術力を尊重し、活力ある組織を形成するという考えを込めている。そして「貢献」には、施工品質の向上と迅速な対応を通じて顧客満足を追求め、地域社会に貢献する姿勢を込めている。最後に「創造」には、変化する社会課題に対して柔軟に対応し、創造的な人材集団として新たな価値を提供することを目指すという会社の姿勢を込めている。この基本方針のもと、同社は施工後対応の標準化や技術者育成、環境負荷の可視化など、非財務価値の向上に取り組んでいる。利益追求だけでなく、地域との共生、働き方改革、人的資本の強化を重視する姿勢は、サステナブル経営の実践企業として高く評価される。



出所：櫻井工業株式会社 提供資料

3. 事業概要

櫻井工業株式会社は、昭和 42 年に札幌市で発足し、設備改修・メンテナンス事業を中心に 50 年以上の実績を有する。本社を札幌市白石区に構え、盛岡・仙台・東京・埼玉・名古屋など全国 7 拠点を展開。大規模マンション等の給排水・給湯設備の改修工事を主力とし、現況調査から施工、アフターサービスまでを一貫して提供する体制を整えている。従業員数は 30 名で、うち技術職が多数を占める。管工事施工管理技士や給水装置工事主任技術者などの有資格者が在籍し、施工品質と対応力に定評がある。近年はクラウド施工管理システムの導入や BCP 対応拠点の整備など、DX・人的資本・環境配慮を重視した経営に転換しており、地域金融機関との連携を通じてサステナブル経営の実現を目指している。

櫻井工業株式会社の主力事業は、集合住宅・公共施設等における給排水・給湯設備の改修工事である。築 30 年以上のマンションを中心に、老朽化した設備の更新を通じて建物の長寿命化と居住者の快適性向上を図っている。施工前には CCD カメラや内視鏡による管内調査を実施し、劣化状況を定量的に把握したうえで、最適な改修計画を提案。施工後は 3 営業日以内の対応を標準化し、顧客満足度の向上に努めている。

また、設備メンテナンス事業では、定期点検・清掃・緊急対応を通じて建物設備の安定稼働を支援。排水管洗浄や貯水槽清掃、消防設備点検などを専門技術者が対応し、管理組合やオーナーの維持管理負担を軽減している。さらに、建物診断・長期修繕計画の作成支援も行っており、資産価値の維持に貢献している。

近年は、クラウド型施工管理システムの導入により、工程管理・情報共有・属人化の解消を推進。施工現場の進捗をリアルタイムで可視化し、技術者の労働時間削減にも寄与している。2025 年度には正社員の年間総労働時間 1,923 時間以下を目標に掲げている。

人的資本面では、外国人施工管理者の登用(累計 6 名)や女性技術者の育成を進めており、研修制度・資格取得支援を通じて多様性ある現場体制を構築。2024 年 8 月には SDGs 教育私募債(寄付寄贈型)の発行による地域教育機関への寄付も実施しており、地域貢献活動として高く評価されている。

■ 当社札幌事業所と施工の様子



出所：櫻井工業株式会社 提供資料


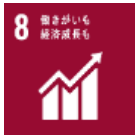
4. サステナビリティ目標

櫻井工業株式会社の更なる企業価値の向上と、持続可能な開発の実現にむけた社会課題を踏まえ、以下のサステナビリティ目標を設定した。この目標は、櫻井工業株式会社の事業エリアである北海道が持続的に発展し、魅力ある地域を創り上げていくために策定した「北海道総合計画(2024)」などを参照し、設定したものである。目標達成への企業行動を通じて、櫻井工業株式会社のプレゼンス向上と地域社会が目指す姿の実現に貢献するものであり、目標は有意義である。

(1) 環境面におけるサステナビリティ目標

重 要 課 題	脱炭素社会実現への貢献
目 標 ・ K P I	温室効果ガスの排出量の可視化を実施する
関連する SDGs	 

(2) 社会面におけるサステナビリティ目標

重 要 課 題	ワークライフバランスの充実
目 標 ・ K P I	正社員の年間総労働時間を 1,923 時間以下にする
関連する SDGs	 

留意事項

本文書は、北洋銀行が借入人に対して実施する「サステナブル経営支援 bonds」に際し、借入人の企業経営とサステナビリティ目標に対する北洋銀行の評価を述べたものです。

本文書に記載された情報は、現時点で入手可能な公開情報、借入人から提供された情報や借入人へのインタビューなどで収集した情報に基づいて、現時点での状況を評価したものであり、当該情報の正確性、実現可能性、将来における状況への評価を保証するものではありません。

北洋銀行は当文書のあらゆる使用に起因して発生する全ての直接的、間接的損失や派生的損害については、一切義務または責任を負わないものとします。

本評価書に関する一切の権利は北洋銀行に帰属します。評価書の全部または一部を自己使用の目的を超えての使用(複製、改変、翻案等を含む)は禁止されています。